

自閉水栓(T705,

T706)取付説明書

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

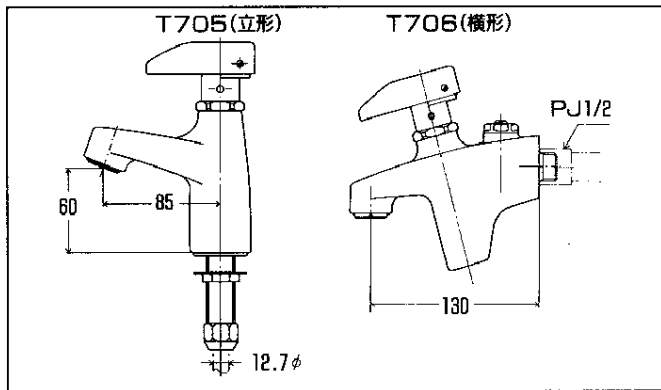
- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

完成図

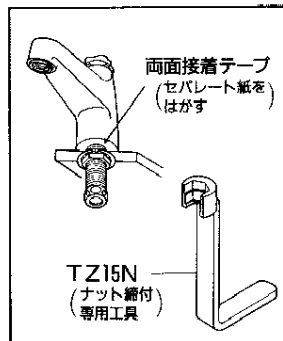


使用条件

1. 使用水圧
給水(湯)圧力 { 最低必要圧力……0.04MPa (0.4kg f/cm²)
最高圧力……0.74MPa (7.5kg f/cm²) }
2. T705 (立形)ご使用の場合
水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず止水栓を併用してください。
3. 湯をご使用の場合
・給湯に蒸気を使用しないでください。
・給湯管には、必ず保温材を巻いてください。

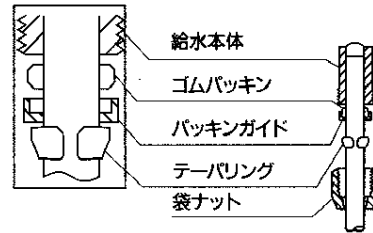
器具の取付け

1. 給水管内の清浄
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
2. T705 (立形)の取付け
洗面器取付穴周囲の汚れをとり、セバレート紙をはがして水栓本体を洗面器に固定してください。
固定には別売のナット締付専用工具 (TZ15N) を利用して確実に締めてください。



給水管はテーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きをまちがえないようにして接続してください。

〈テーパリング接続方法〉



取付後の掃除

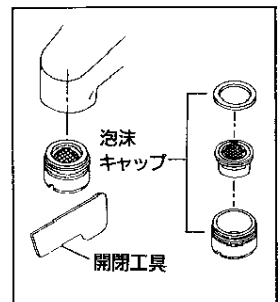
泡沫キャップ・ストレーナがつまると水の流れが乱れたり、吐水量が少なくなるなど機能が十分発揮されませんので器具取付後は必ず掃除してください。

また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。

●泡沫キャップの掃除

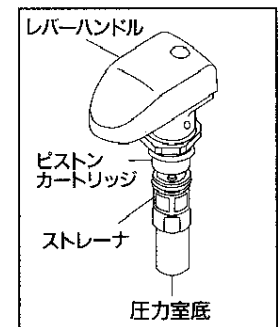
付属の開閉工具で取出し掃除してください。

注：付属の開閉工具は必ずお客様にお渡し願います。



●ストレーナ

- 1) 止水栓を閉じる。
- 2) ピストンカートリッジをスパナなどでゆるめて取出す。
- 3) ストレーナの網目につまったごみをブラシなどで掃除し十分水洗いする。



△ 注意

ピストンカートリッジのレバーハンドルを操作した場合圧力室底からピンが飛び出ます。圧力室底に指などが触れた状態でレバーハンドルを操作しないようにしてください。けがをするおそれがあります。

注：組立の際はピストンカートリッジがゆるまないよう十分に締付けてください。

水勢・吐水時間の調節

1. 水勢の調節

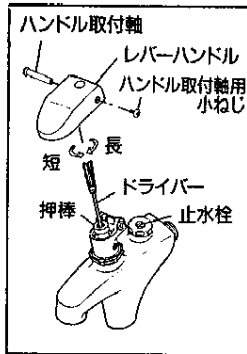
使用時に水飛びしない程度に止水栓で水勢を調節してください。(立形の場合は併用の止水栓で行なってください。)

2. 吐水時間の調節

吐水時間調節ねじを内蔵していますので、次の要領で適度な吐水時間に調節してください。

なお、吐水時間の最大は50秒程度です。

- 1) 水勢を調節して吐水時間を確かめる。
- 2) ハンドル取付軸をドライバーで固定し、ハンドル取付軸用小ねじをドライバーなどでゆるめレバーハンドルを外す。
- 3) 吐水時間調節ねじをドライバーなどで回転させ、適当に調節する。
右回転……長くなる。
左回転……短くなる。
- 4) 押棒を押して吐水時間を確かめる。



- 5) 調節が終わったらレバーハンドルを取付け、ハンドル取付軸をドライバーで固定しハンドル取付軸用小ねじをゆるまないよう十分に締付けてください。

お手入れ

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. 常に柔らかな布でみがき、ときにはミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふいてください。
2. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

分解と点検

取付後万一故障などで分解するときは、次の要領で行ってください。

故障と点検箇所	
故障	点検箇所
水勢が強すぎる	1
水勢が弱すぎる	1, 2, 3
水が止まらない	4, 5
吐水時間が長い	4, 6
吐水時間が短い	6
吐水状態が乱れる	2
ハンドルがガタつく	8

注：分解のときパッキンがめくれないように注意してください。

注：分解のときばねの中にクリーニングピンが付いていますので曲げないように注意してください。